日南市内企業景況調査報告書

令和４年10月～12月

１．実施概要

（１）回答企業数

回答企業数　　３３社

業種別

製造業	11社
建設業	５社
卸売業	１社
小売業	９社
サービス業	７社
合計	３３社

（２）実施時期　令和４年10月～12月期

（３）調査内容

調査対象の第２四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

（４）調査対象

日南市内の製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の５業種で合計３３社を調査対象とした。

（５）調査方法

日南市内の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、調査結果を集計し分析する。

（６）その他

業種別の結果については日南商工会議所ホームページにて掲載。

２．調査結果（ＤＩ）

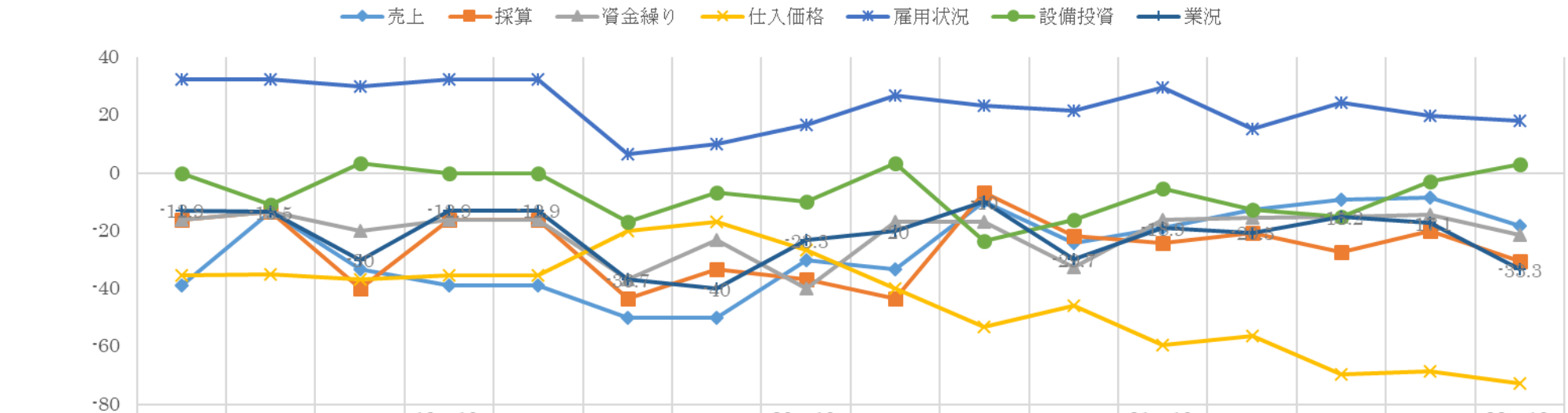
ＤＩとは（景況判断指数）とは

ＤＩは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値は景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナス値は景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

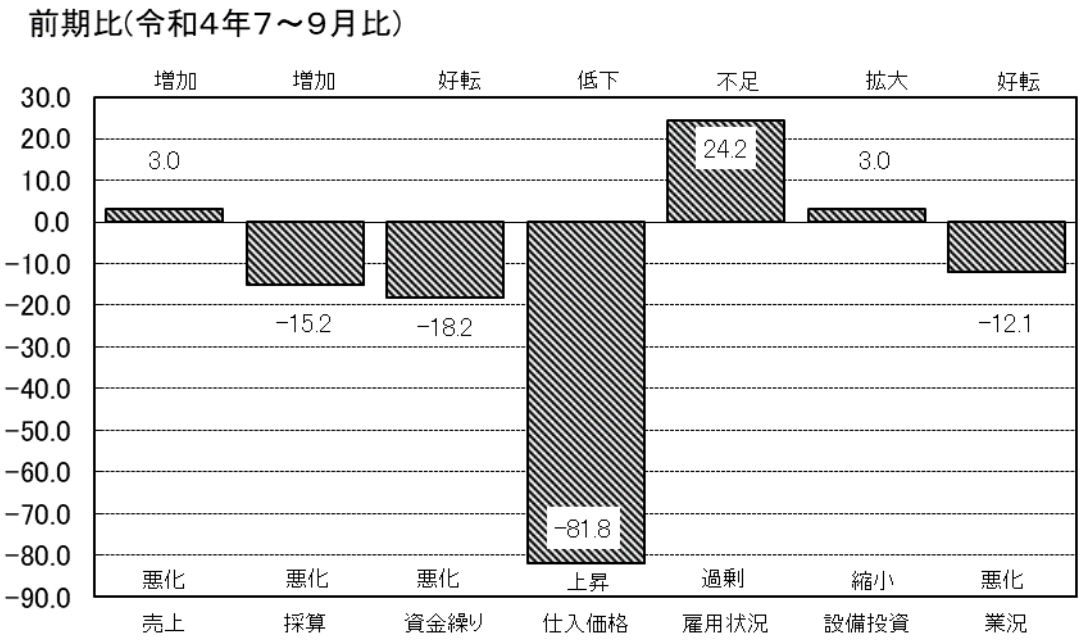
売　　上 DI	＝	（増加回答の割合）	－	（減少回答の割合）
採　　算 DI	＝	（好転　　〃　　）	－	（悪化　　〃　　）
資金繰り DI	＝	（好転　　〃　　）	－	（悪化　　〃　　）
仕入価格 DI	＝	（下落　　〃　　）	－	（上昇　　〃　　）
雇用状況 DI	＝	（不足　　〃　　）	－	（過剰　　〃　　）
設備投資 DI	＝	（拡大　　〃　　）	－	（減少　　〃　　）
業　　況 DI	＝	（好転　　〃　　）	－	（悪化　　〃　　）

前年同期比（全企業DIの３か年の推移）

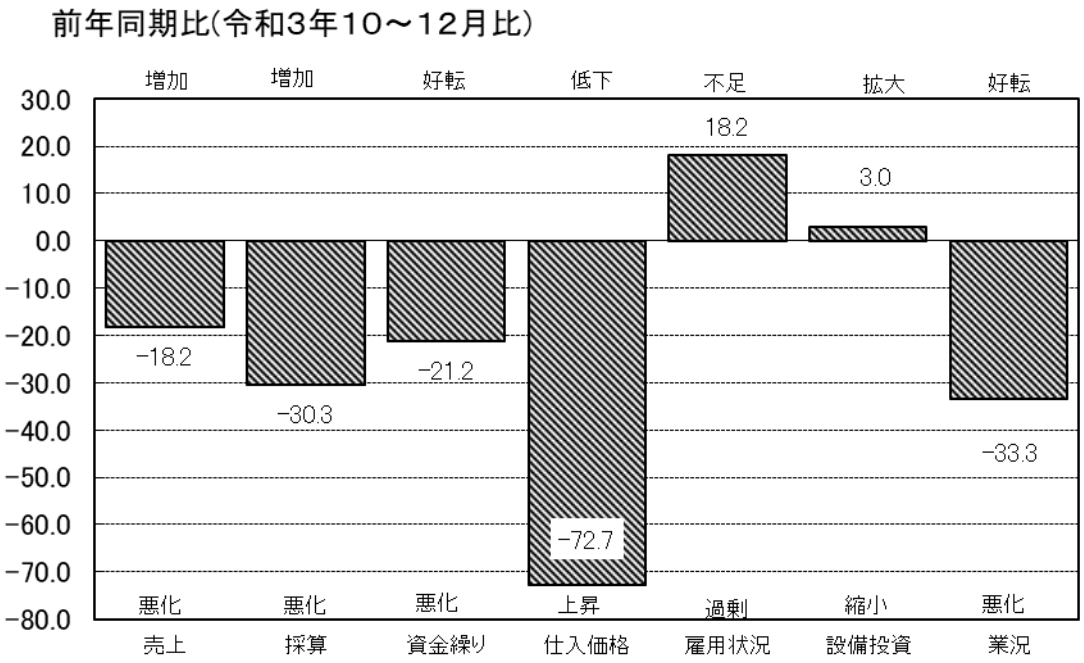


	19・1-3	19・4－6	19・7-9	19・10-12	20・1-3	20・4-6	20・7-9	20・10-12	21・1-3	21・4-6	21・7-9	21・10-12	22・1-3	22・4-6	22・7-9	22・10-12
売上	-38.7	-13.5	-33.3	-38.7	-38.7	-50	-50	-30	-33	-10	-24.3	-18.9	-12.8	-9.1	-8.6	-18.2
採算	-16.1	-13.5	-40	-16.1	-16.1	-43.3	-33.3	-36.7	-43.3	-6.7	-21.6	-24.3	-20.5	-27.3	-20.0	-30.3
資金繰り	-16.1	-13.5	-20	-16.1	-16.1	-36.7	-23.3	-40	-16.7	-16.7	-32.4	-16.2	-15.4	-15.2	-14.3	-21.2
仕入価格	-35.5	-35.1	-36.7	-35.5	-35.5	-20	-16.7	-26.7	-40	-53.3	-45.9	-59.5	-56.4	-69.7	-68.6	-72.7
雇用状況	32.3	32.4	30	32.3	32.3	6.7	10	16.7	26.7	23.3	21.6	29.7	15.4	24.2	20.0	18.2
設備投資	0	-10.8	3.3	0	0	-16.7	-6.7	-10	3.3	-23.3	-16.2	-5.4	-12.8	-15.2	-2.9	3.0
業況	-12.9	-13.5	-30	-12.9	-12.9	-36.7	-40	-23.3	-20	-10	-29.7	-18.9	-20.5	-15.2	-17.1	-33.3

３．市内の景気動向（全業種）

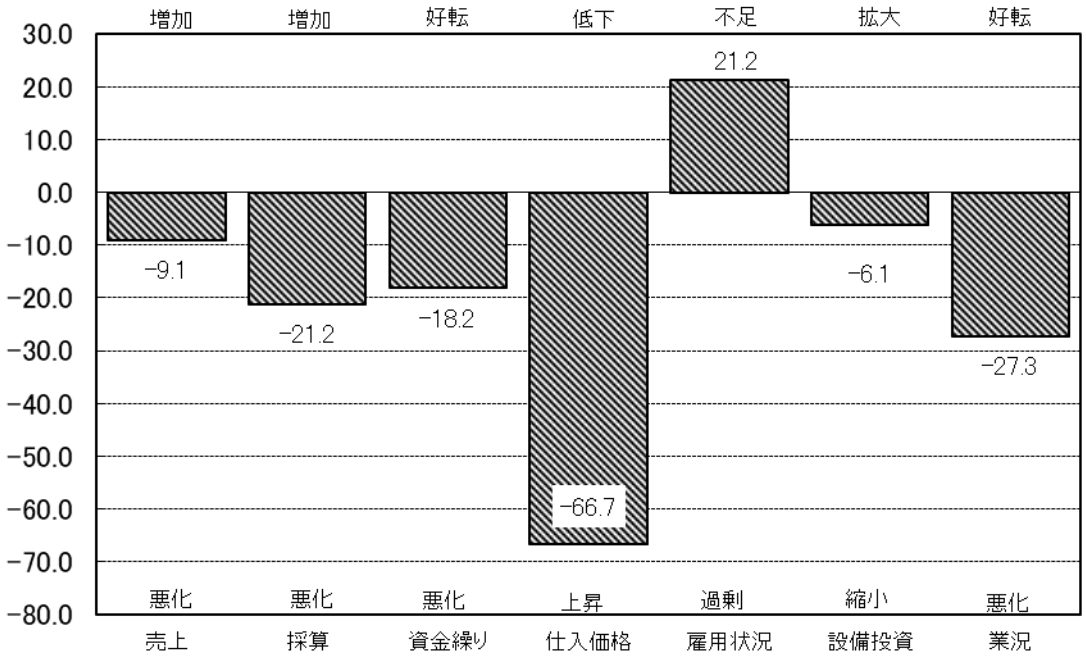


前期（令和４年７月～９月）と比較すると、売上が増加している業種もあるが、ほとんどの項目においてマイナスの値を示した。特に仕入価格の上昇についての回答が多く、原油価格の高騰や円安による物価上昇の影響を受けており、前期比と比べて業績が悪化したと回答している事業所が多かった。また、雇用状況が不足している事業所も多かった。



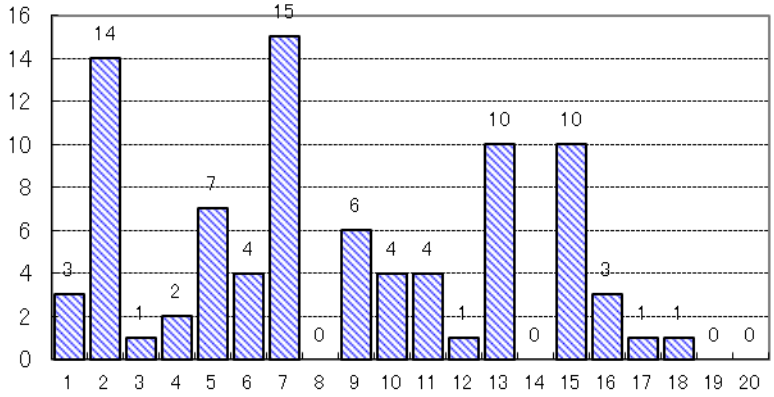
前年同期と比較すると、ほとんどの項目においてマイナスの値を示した。特に仕入価格の上昇についての回答が多く、原油価格の高騰や円安による物価上昇の影響を受けており、前年比と比べて業績が悪化したと回答している事業所が多かった。また、雇用状況が不足している事業所も多かった。

来期見通し(平成5年1～3月見通し)



来期の見通しでは、仕入価格の上昇により採算や資金繰りの見通しが立たないという回答が多かった。また、今後もコロナの影響により売上減少が見込まれるという回答が見られた。

4．経営上の問題点（全業種）



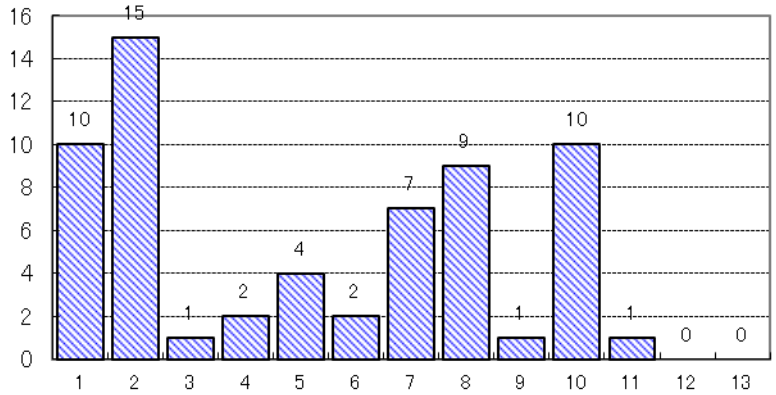
順位

１位	7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
２位	2. 需要の停滞
３位	13. 熟練技術者（従業者）の不足
３位	15. 従業員の不足
４位	5. 生産設備の不足・老朽化

項目一覧

1. 県外大手企業の進出による競争の激化
2. 需要の停滞
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
4. 新規参入業者の増加
5. 生産設備の不足・老朽化
6. 製品ニーズの変化
7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
8. 生産設備の過剰
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
10. 人件費の増加
11. 製品（販売）単価の低下・上昇難
12. 原材料の不足
13. 熟練技術者（従業者）の不足
14. 金利負担の増加
15. 従業員の不足
16. 事業資金の借入難
17. 商品在庫の過剰
18. 取引条件の悪化
19. 為替相場による海外製品との競争激化
20. 代金回収の悪化

5．今後の対応策



順位

１位	2. 生産性を向上させたい
２位	1. 従業員を新規雇用したい
２位	10. 経営の多角化を行いたい
４位	8. 新規市場を開拓したい
５位	7. 新製品の開発を行いたい

項目一覧

1. 従業員を新規雇用したい
2. 生産性を向上させたい
3. 人件費を削減したい
4. 生産調整を行いたい（操業短縮など）
5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など）
6. 金融機関から資金を調達したい
7. 新製品の開発を行いたい
8. 新規市場を開拓したい
9. 業種転換を行いたい
10. 経営の多角化を行いたい
11. 下請発注を減らしたい
12. 海外へ生産拠点を移したい
13. 海外から原料・部品を調達したい

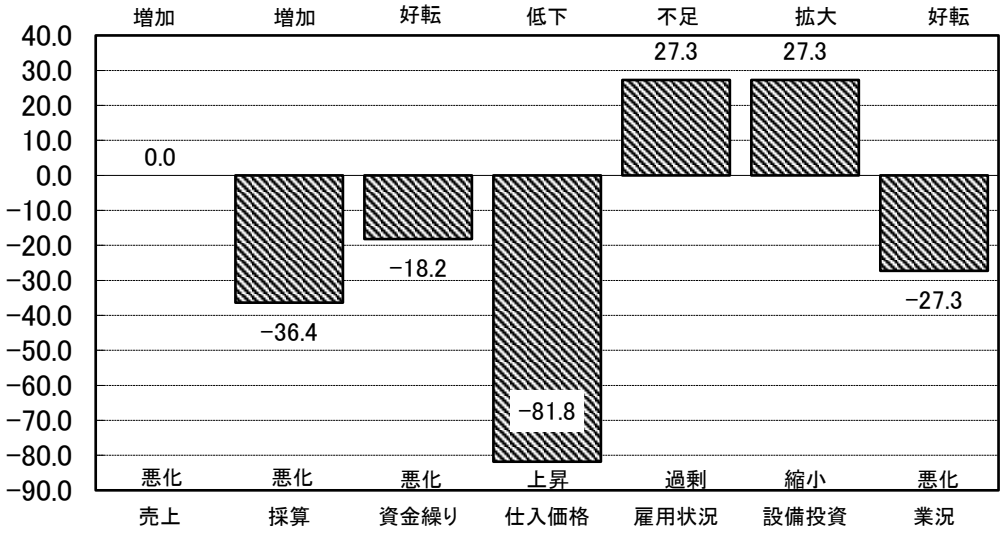
6．国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
建設業	建設工事業	日南	物価高の影響で資材価格等が増加しているので経営に負担をきたしているので中小・零細企業への支援策を充実してほしい。
建設業	メンテナンス（電気・電力・計装）電気・計装・通信工事、盤設計製造	日南	国と日銀に為替の安定、金利コントロール等の難題に確りと取り組んでもらいたい。またエネルギーの安定供給にも努めてもらいたい。
建設業	土木建設業	日南	東九州高速道（日南～串間間）の早期開通に向けての予算確保を毎年お願いしたい。
小売業	美容業	日南	利上げによる景気減速が見込まれる中、需要はあっても人員不足で需要に答えられないことが多いように見受けられる。働き方に制限をもたらす制度である扶養控除や配偶者控除、社会保険適用外の撤廃によって雇用を創出したり、利益の出ない会社は解雇しやすくしたりするなど、労働の流動化が可能になる制度の早期実施を強く希望します。
小売業	不動産管理	日南	河野知事に国内、国外に強いメッセージを発進してもらいたい。 宮崎県を広くPRしてもらいたい。
サービス業	飲食業	日南	宮崎のおいしい食べ物を含めもっとPRして欲しい。戦う宮崎県になって欲しい。
サービス業	ホテル・ゴルフ	日南	販管費が近年急上昇しており、採算がとれない。外時要因が大きく、とても不安を感じます。
サービス業	タクシー	日南	補助をお願いします。

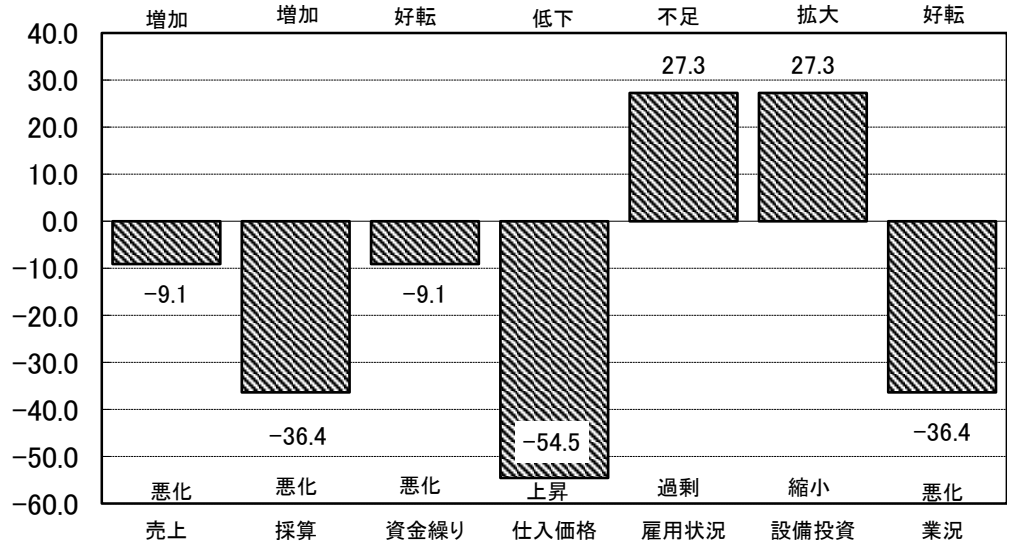
5. 業種別の景気動向

(1) 製造業

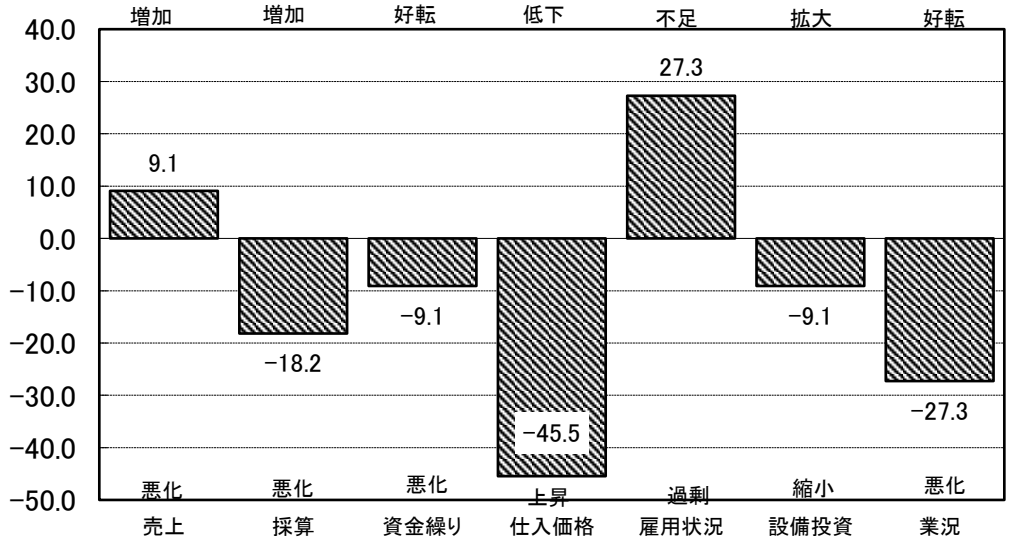
前期比(令和4年7～9月比)



前年同期比(令和3年10～12月比)

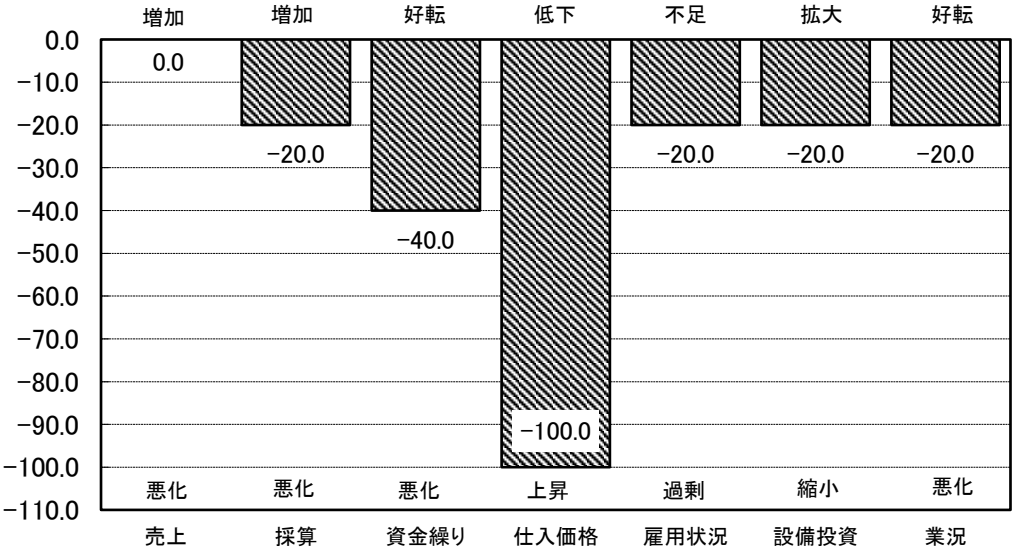


来期見通し(令和5年1～3月見通し)

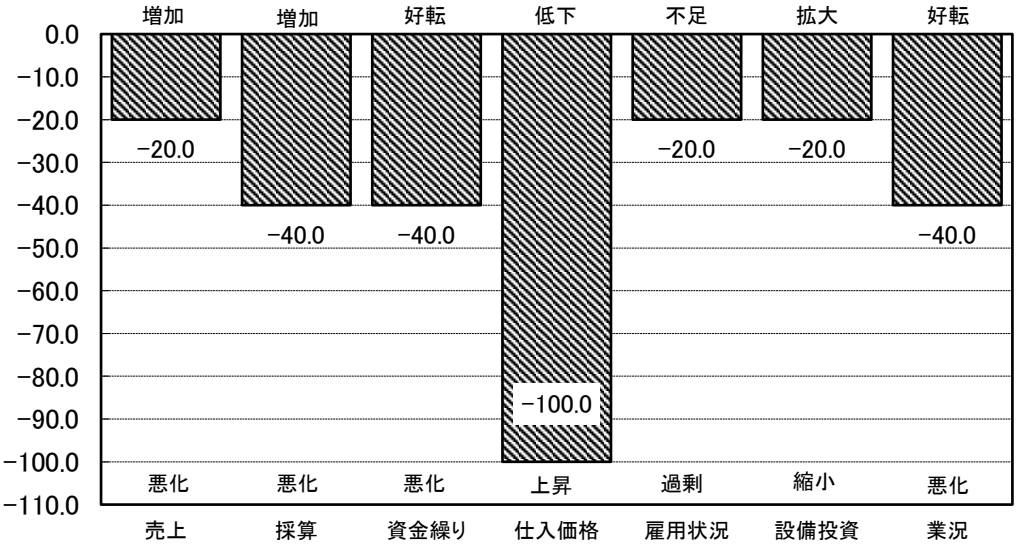


(2) 建設業

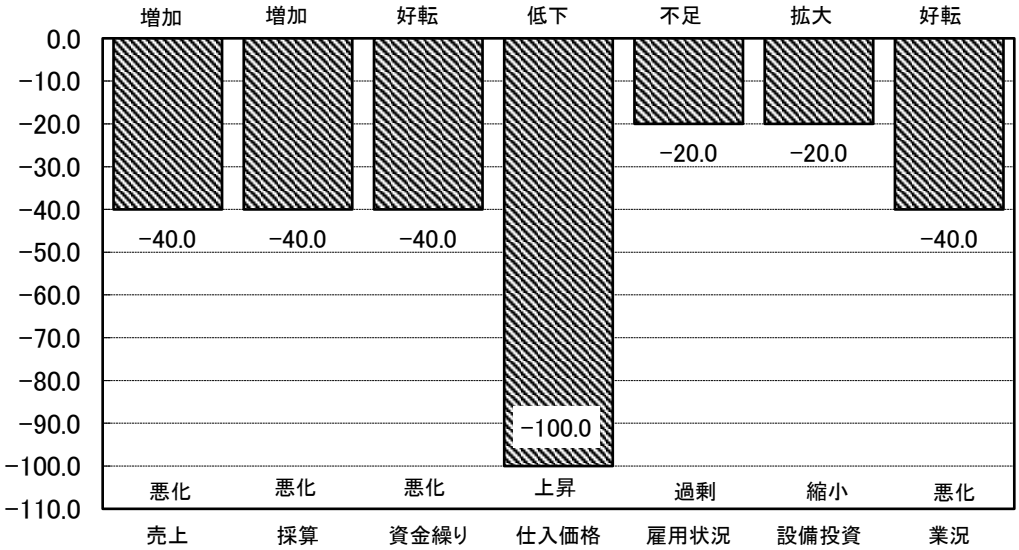
前期比(令和4年7～9月比)



前年同期比(令和3年10～12月比)

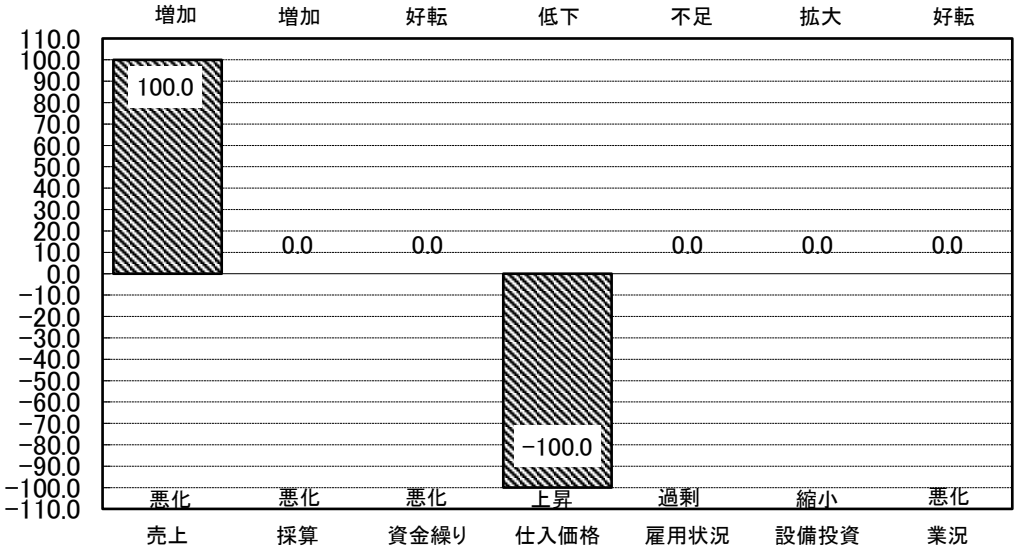


来期見通し(令和5年1～3月見通し)

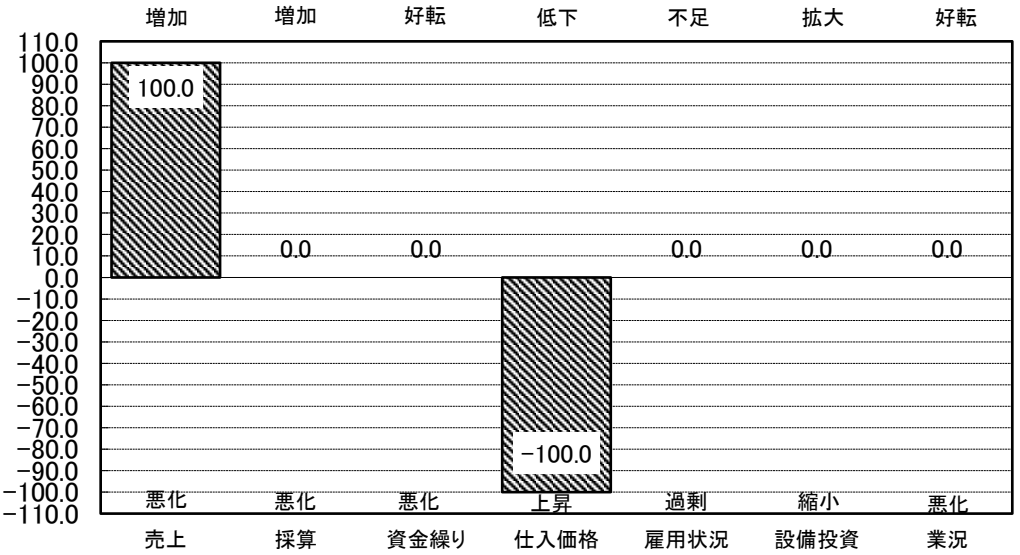


(3) 卸売業

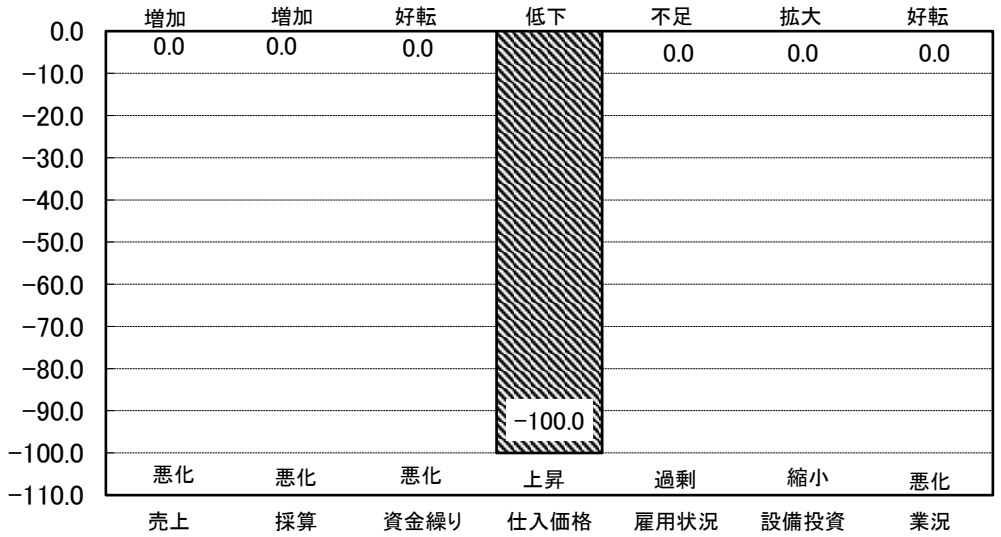
前期比(令和4年7～9月比)



前年同期比(令和3年10～12月比)

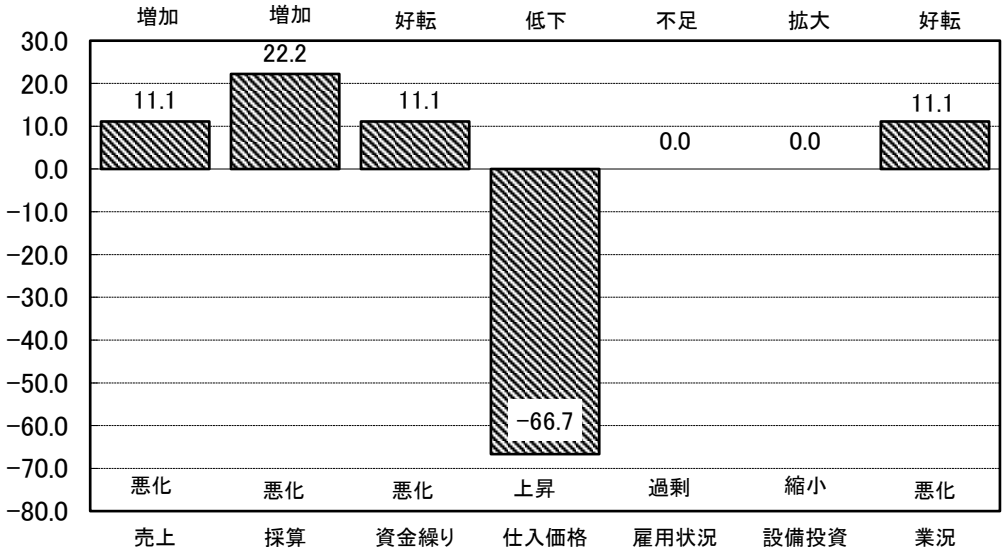


来期見通し(令和5年1～3月見通し)

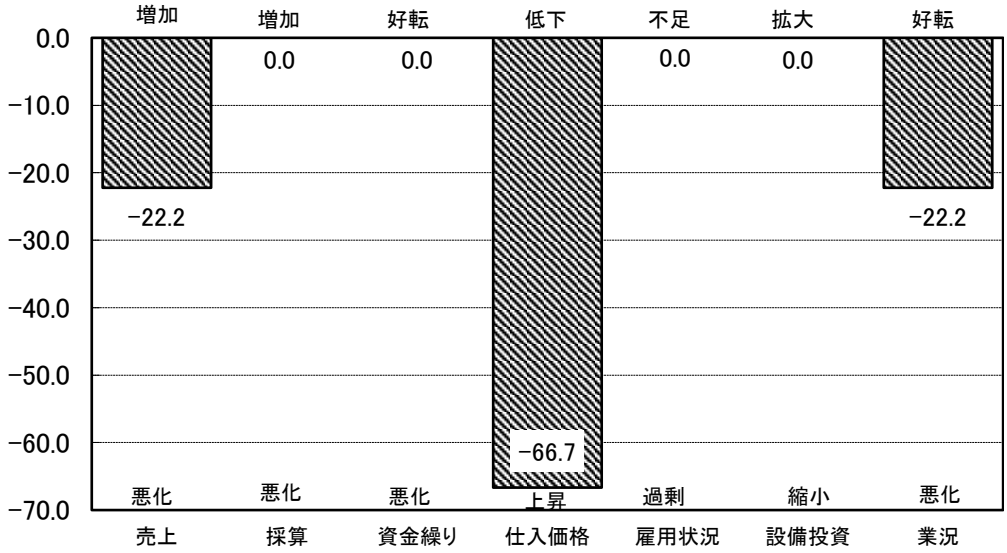


(4) 小売業

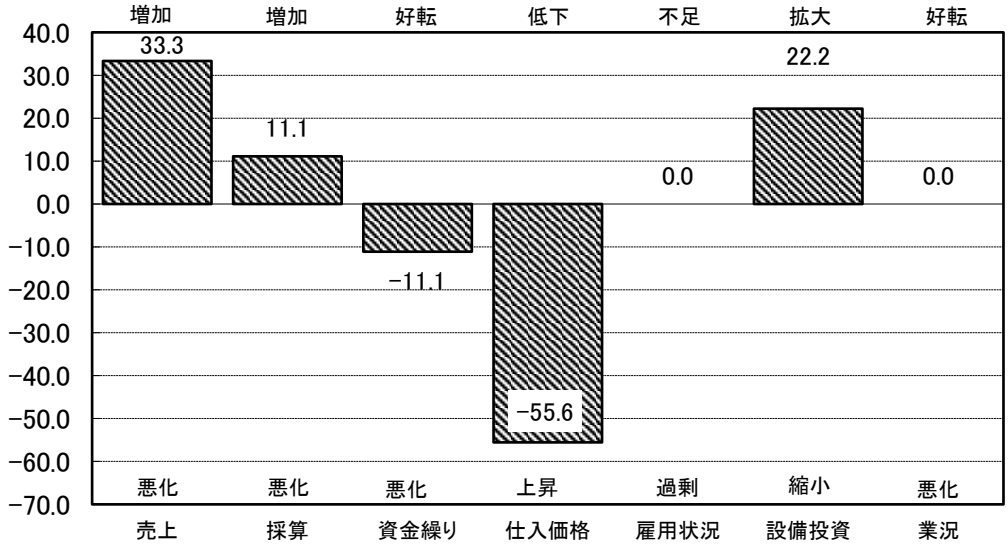
前期比(令和4年7～9月比)



前年同期比(令和3年10～12月比)

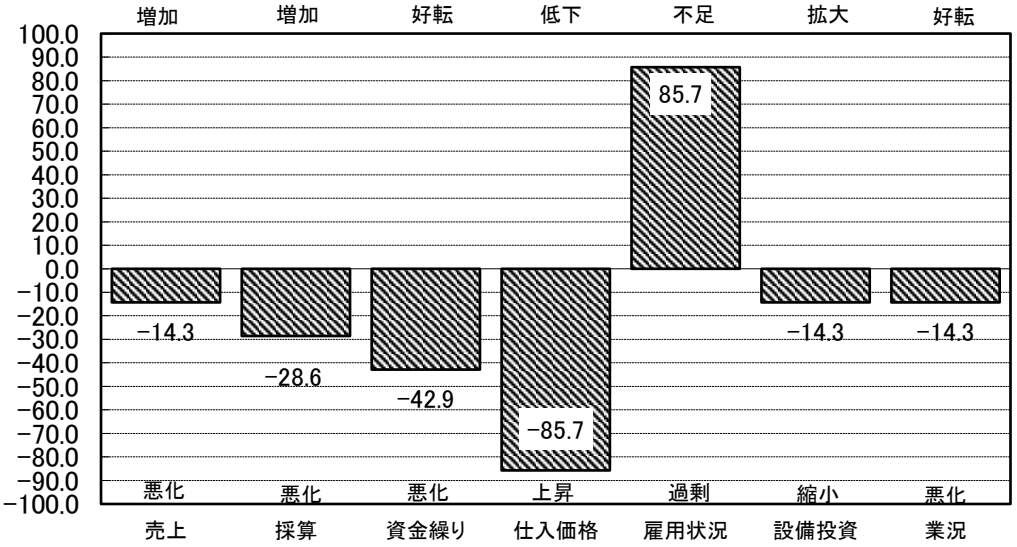


来期見通し(令和5年1～3月見通し)

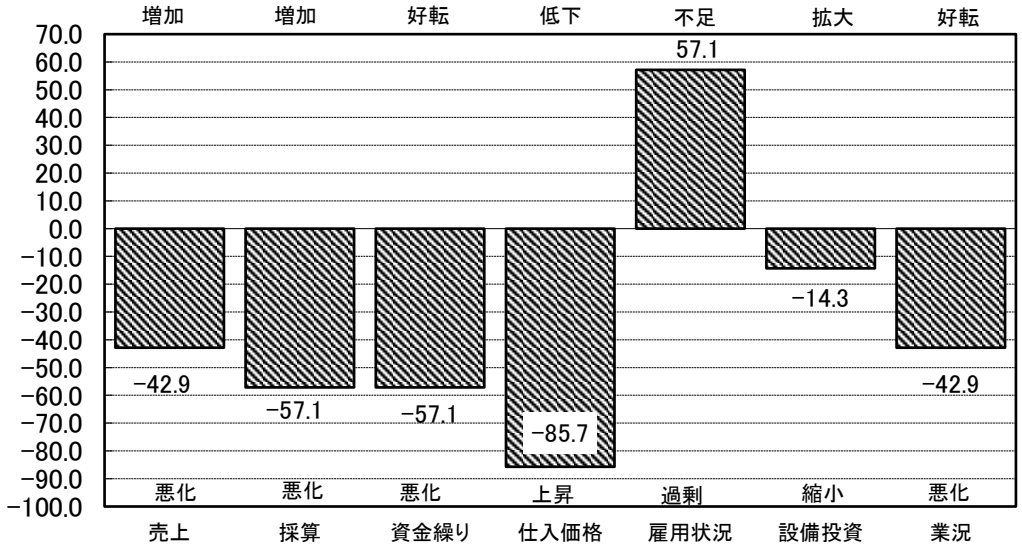


(5) サービス業（飲食関連・観光関連を含む）

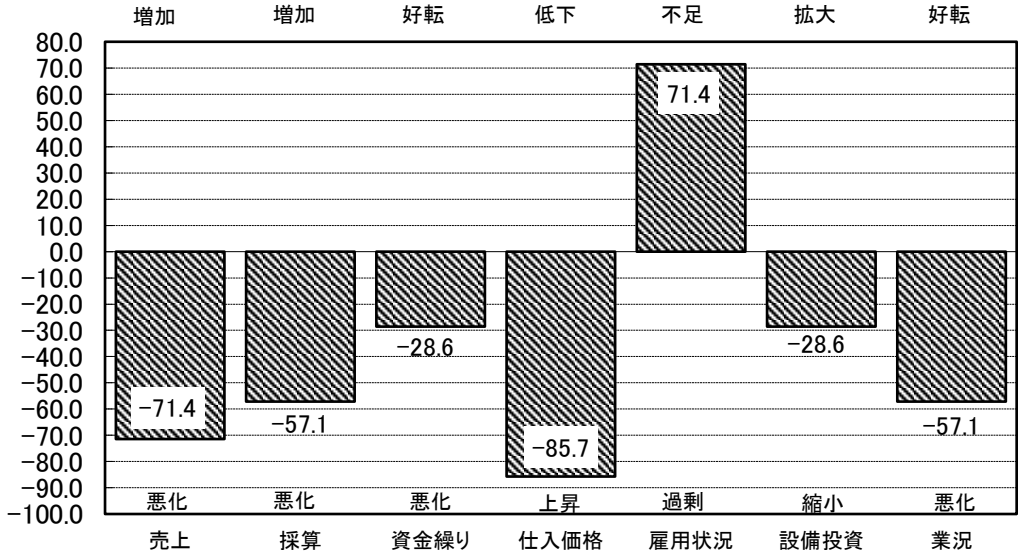
前期比(令和4年7～9月比)



前年同期比(令和3年10～12月比)

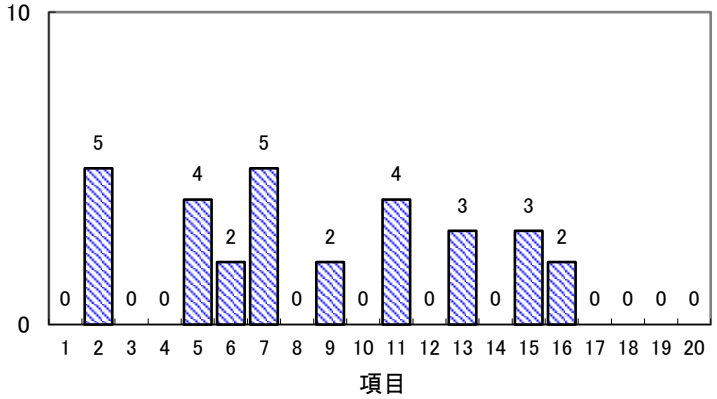


来期見通し(令和5年1～3月見通し)



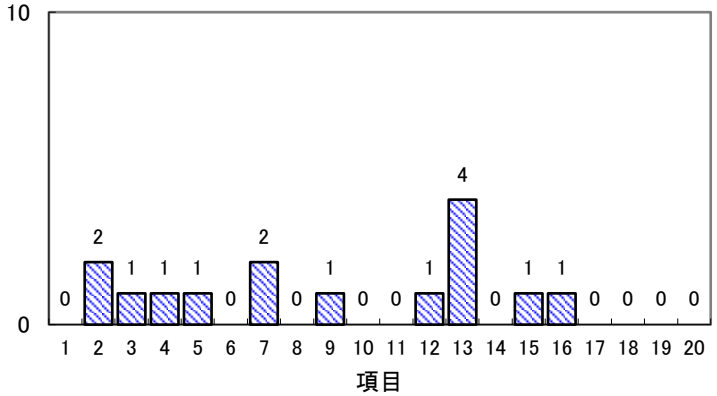
６．経営上の問題点

製造業



順位
1位 需要の停滞
2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
3位 生産設備の不足･老朽化
4位 製品(販売)単価の低下･上昇難
5位 熟練技術者(従業者)の不足

建設業

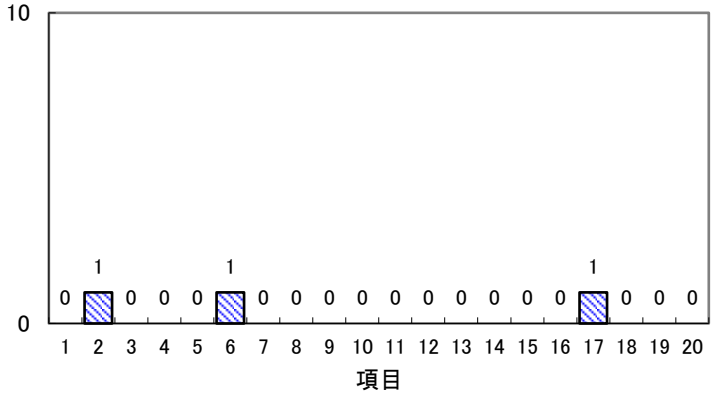


順位
1位 熟練技術者(従業者)の不足
2位 需要の停滞
3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
5位 新規参入業者の増加

項目一覧

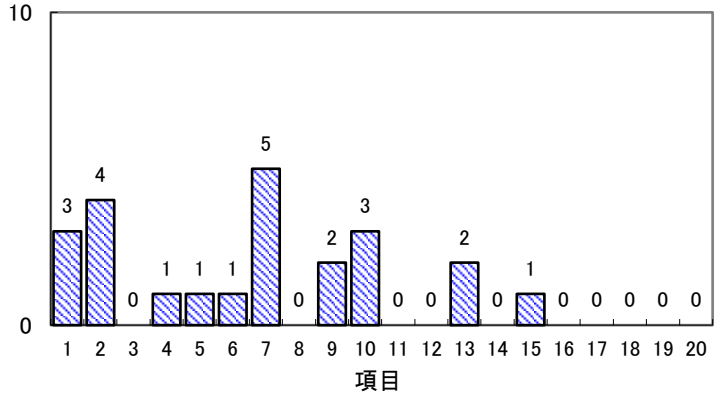
1. 県外大手企業の進出による競争の激化
2. 需要の停滞
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
4. 新規参入業者の増加
5. 生産設備の不足・老朽化
6. 製品ニーズの変化
7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
8. 生産設備の過剰
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
10. 人件費の増加
11. 製品（販売）単価の低下・上昇難
12. 原材料の不足
13. 熟練技術者（従業者）の不足
14. 金利負担の増加
15. 従業員の不足
16. 事業資金の借入難
17. 商品在庫の過剰
18. 取引条件の悪化
19. 為替相場による海外製品との競争激化
20. 代金回収の悪化

卸売業



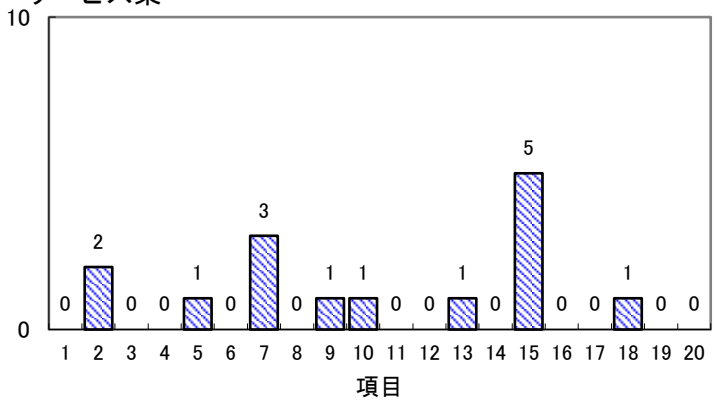
順位
1位 需要の停滞
2位 製品ニーズの変化
3位 商品在庫の過剰
4位 県外大手企業の進出による競争の激化
5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

小売業



順位
1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
2位 需要の停滞
3位 県外大手企業の進出による競争の激化
4位 人件費の増加
5位 原材料・人件費以外の経費の増加

サービス業



順位
1位 従業員の不足
2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
3位 需要の停滞
4位 生産設備の不足・老朽化
5位 原材料・人件費以外の経費の増加

項目一覧

1. 県外大手企業の進出による競争の激化
2. 需要の停滞
3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化
4. 新規参入業者の増加
5. 生産設備の不足・老朽化
6. 製品ニーズの変化
7. 原材料（仕入単価）価格の上昇
8. 生産設備の過剰
9. 原材料・人件費以外の経費の増加
10. 人件費の増加
11. 製品（販売）単価の低下・上昇難
12. 原材料の不足
13. 熟練技術者（従業者）の不足
14. 金利負担の増加
15. 従業員の不足
16. 事業資金の借入難
17. 商品在庫の過剰
18. 取引条件の悪化
19. 為替相場による海外製品との競争激化
20. 代金回収の悪化